

広島大学大学院  
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
第 11 回ショートフィールドビジットを実施しました

平成 28 年 3 月 7 日（月）に、本プログラム学生及び教職員の 11 名が、中国電力株式会社島根原子力発電所を訪問しました。

初めに、島根原子力館にて、原子力発電の原理や構造について、また、島根原子力発電所が取り組んでいる安全対策について説明を受けました。

次に、島根原子力発電所構内に移動して、ガスタービン発電車、冷却用注水車、移動式熱交換装置などの緊急時対応装置、防波壁や水密扉といった浸水防止対策設備、免震重要棟内の緊急時対応室、そして、3 号機建屋内では、中央制御室、燃料プール、タービン施設、さらに、3 号機の原子炉格納容器の中では、原子炉圧力容器や蒸気弁などについて説明を受けました。

参加者からは、「島根原子力発電所を見学することにより、原子力発電の原理などについて学ぶことが出来た。また、原子力発電所事故を起こさないための対策、そして、万が一事故が発生してしまった際の拡大防止対策について学習することが出来た。」といったコメントがあり、非常に充実した機会となりました。